

(公社)地すべり学会 新潟支部
平成 29 年度 第 6 回幹事会議事録

日 時：平成 30 年 1 月 18 日 (木) 18:30～20:30

場 所：新潟大学 災害・復興科学研究所 1 階 プレゼンテーションルーム

出席者：福岡，渡部 (直)，稲葉，佐藤 (壽)，渡部 (哲)，風間，増田，辻川，藤ノ木，井藤，古
宇田 (11 名)

記 録：井藤

1. 各部会の進行状況

①総務 (稲葉幹事長，井藤幹事)

- ・前回の幹事会決定 (第 2・第 3 会場の 8/21 午後は利用しない) を受けて，朱鷺メッセ，アド・メディックに見積もり修正依頼を行い，その結果を報告した。
- ・朱鷺メッセの見積額は税込 2,038,642 円，アド・メディックは税込 2,008,800 円。
- ・朱鷺メッセ見積のうち，無線インターネットは利用しないこととする。
- ・アド・メディック見積のうち，発表会場の PC や音響照明は新潟支部で担当することとし，専門スタッフ費用の削減を行う。
- ・発表用ファイルは発表者が発表前までに各会場の PC に入れることとし，アド・メディック見積のデータ受付用ノートパソコン費用を削減する。ただし，データ確認用として発表会場と同じ仕様の PC を 2 台，準備する。
- ・アド・メディック見積には，参加者ネームプレート製作費用 (500 名×90 円=45,000 円) を計上している。

②県民講演会 (渡部副支部長)

- ・各講師からは講演の承諾を得ている。

③受付

- ・担当者欠席のため，報告事項なし。

④研究発表会 (渡部副幹事長)

- ・今後，会場スタッフの役割や人数等について精査を行う。

⑤意見交換会 (藤ノ木幹事)

- ・前回の幹事会を受けて，ケータリング内容の見直し，枝豆の増量等を行った。意見交換会費用として 2,416,520 円の積算書を報告した。
- ・日本酒は 1 蔵元から 2 銘柄・普通酒・1 升ビンで 40 本くらいという意見を踏まえ，今後検討する。
- ・参加者に 1 合枡を配布したい。刻印等も可能か今後検討する。

⑥新技術紹介

- ・担当者欠席のため，報告事項なし。
- ・今後必要になることとして，過去の出展リストを踏まえての各社への依頼，会誌 3 月号に向けた募集要項の作成を確認。

⑦現地見学

- ・松之山コースは，関田山脈など高台からの全景や，美人林，清水日影地すべりを視察するコースが考えられる。
- ・管轄している県事務所や国土交通省事務所，現地案内が想定されるコンサルには，今後協力依

頼をする必要があるが、まずは内諾を得る。

⑧広報（福岡支部長）

- ・長野大会ではマスコミに働きかけを行ったが、目立った成果が無かった。
- ・新潟大会では限られた会社だけでなく、NHK, BSN, 新潟日報・・・等全社に呼びかける必要がある。

⑨会計（古宇田幹事，渡部副支部長）

- ・「日本地すべり学会新潟大会実行委員会 福岡浩」名義で口座を開設した。
- ・新潟県と新潟市に補助金の申請を行った。
- ・斜面協会や地質協会など毎年協賛金を頂いている団体には、今回は新潟支部宛てでなく、実行委員会宛てに協賛金を頂けるよう手配する必要がある。
- ・紙媒体の予稿集の費用については、参加費とは別に希望者から徴収する。但し、事前の申し込み数が確定する前に印刷するため、予備が出ることを前提に見積もる必要がある。

⑩支部出版物 DVD（稲葉幹事長）

- ・「支部出版物」としているが、これは新たなものを作るのではなく、既存の出版物管理を改善する方法として、紙媒体を電子化するものである。
- ・出版委員会への申請書提出が必要となるか、ISBNの取り扱いも含め、本部に確認を行う。

2. 実行委員会にむけて

- ・当日配布する資料の確認を行った。
- ・実行委員会は1/22(月) 18:30～を予定している。
- ・席や資料の準備があるため、幹事の欠席を稲葉幹事長に連絡すること。
- ・当日の座席配置は、委員用がロの字型、幹事用がスクール型とする。

3. 特別講演

- ・フォッサマグナミュージアムの竹ノ内氏が候補に挙がり、まずは打診することとなった。
- ・これまでのジオパークへの取り組みには、今後の学会活動に活かせる事例が多数あるものと思われる。

4. 特別セッション

- ・メール等を活用し今後検討するが、まずは、公募要領（特に締切日）を事業部に確認する。
- ・新潟では羽越水害から50年の節目の年であり、また近年、県内外でも豪雨による土砂災害が頻発している。線状降水帯と斜面災害、過去の災害のふりかえり、内陸直下型地震、棚田と積雪などがキーワードと考えられる。

5. 来年度支部シンポジウムの内容

- ・6/1(金)を第1候補、6/15(金)を第2候補とし、県民会館の予約手続きを進める。
- ・テーマは、新潟県や近県で発生した最近の災害報告が候補と考えられる。その中には新潟大会現地見学コースの現場も含まれる。
- ・基調講演の講師としては、土研の石田氏や金澤氏が候補と考えられる。
- ・テーマ及び概要、候補者についてはメール審議を経て、次回幹事会で決定する。

6. その他

- ・地すべり災害記録CDの作成については、山下副幹事長の意見も踏まえ決定する。

次回：2月13日(火)18:30～災害・復興科学研究所1階プレゼンテーションルーム